

<式辞> 矢野建一学長



新入生の皆さん、ご入学おめでとう。ご父母・保護者の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。

今年本学に入学された新入生は7学部17学科(一学部・二部含む)で約4700人。学生総数は大学40周年を迎えることになり、全国でも屈指の伝

考え悩むことが大切

神田靖国通り沿いの新校舎は本学の誇るべき伝統であると考えています。しかし最近の大学を巡る情勢はめまぐるしい変化をみせています。皆さんも大学のグローバル化、ユニバーサル化などを目にされたことがあると思います。本学ではこ

な学問と実践的学問の融合を宣言しています。こうしたビジョンに基づき教育課程では「新たな学士課程教育」の導入を始め、生田キャンパスで新しいキャンパスを展開したいと考えています。皆さんの学びの環境が急速かつ確実に整備されつつあるといっても過言ではありません。しかしここで心していただきたいのは、カリキュラムの改革や最先端の教育施設をできるだけ整えたいと、あくまでも条件の一つにすぎないという事です。

2016年度入学式

<祝辞> 日高義博理事長



何をしたのが問題です。私は検事になりました。法学部に入りました。しかし、最高検察庁の検事を経験された恩師神山欣治先生の刑法の講義を聴き、2年次生の時に研究者になる決意をいたしました。



入学したのは昭和41年(1966)年です。これまでもさまざまな困難もありましたが、それは私の刑法学を樹立する上で歩まなければならぬ一筋の道であり、専修大学をつくった創立

歩むべき道見定めて

本日入学された皆さん、おめでとうございませう。またご父母・保護者の皆さま、心からお慶び申し上げます。これから4年間、学生が勉学に励むうえでご支援いただき、ますますお願いいたします。

大学は、どこの大学に入ったかではなく、大学者になっただけで、

専修大学は、創立130周年を記念し創立者の思いを伝える映画「学校をつくる」を製作しました。皆さんの30年後を決めます。これからの主体的な学びと精進を期待します。自分が歩む道に、自信をもってほしいと思います。

新専任教員

4月1日付で新たに14人が専任教員となった。各教員の氏名、職名、主な担当科目は次の通り。(敬称略)

【経済学部】 教授 鈴木 将寛 教授 「ミクロ経済学」	【法学部】 准教授 大西 楠・テア 准教授 「ヨーロッパ大陸法」	【文学部】 准教授 須田 淳一 准教授 「日本語の文字・表記」	【商学部】 教授 勝部 伸夫 教授 「現代企業」	【経済学部】 准教授 佐々木 健 准教授 「親族法相続法」	【法学部】 准教授 松尾 治 准教授 「書道」	【経済学部】 准教授 田上 麻衣子 准教授 「知的財産法」	【文学部】 准教授 丸山 岳彦 准教授 「日本語の語彙・意味」	【経済学部】 准教授 前田 修志 准教授 「商法I(企業組織)」	【経済学部】 准教授 丸山 岳彦 准教授 「日本語の語彙・意味」	【経済学部】 准教授 丸山 岳彦 准教授 「日本語の語彙・意味」	【経済学部】 准教授 丸山 岳彦 准教授 「日本語の語彙・意味」
-----------------------------------	--	---------------------------------------	--------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	--	--	--	--

長谷川 徹
助教 「日本の思想(現代以前)」

【ネットワーク情報学部】
講師 晃介
講師 「ユーザインタフェース」

【法科大学院】
教授 棟居 快行
教授 「憲法総合演習I(憲法訴訟論)」

渡部 健司
特任教授 「マルチメディア表現技法」

吉原直樹・今野裕昭・松本行真編著
グローバリ化が一層深化しはじめた90年代以降、国境を越える人びとの移動が急増し、定住する移民も、国策移民や企業移民とは異なる、ライフスタイル移民や文化移民と呼ばれる新しい型の移民が出現している。インドネシア・バリ島の日

海外日本人社会とメディア・ネットワーク
メディア・ネットワーク
海外日本人社会とメディア・ネットワーク
メディア・ネットワーク

専修人の新しい本

トランスナショナル・コミュニティ
島、同島出身者の多くが住んだホルルルのカカアコ地区やアラ街を訪ねた。そして群馬県大泉町のブラジルタウン、新宿のリアタウン、さらにはニューヨーク・マンハッタン、イーストビレッジなどでフィールドワークを重ね、想像的アイデンティティという人間像を提起した経験的、思索的な研究書である。(ハーベスト社・本体3200円+税)

観光の地に何度も観光で来て国際結婚した母親たち(ライフスタイル移民)が主役で形成されてきた。本書は、バリの日本人社会が、従前の固い組織のコミュニティから多様で流動的なネットワークの創発的で脱統制的なコミュニティに移行している実態を、実証的に明らかにし、さまざまなネットワークを多様な情報メディアが媒介している相を分析している。(東信堂・4600円+税)

共編著者(こんの・ひろあき) 人間科学部教授。主な担当は、地域社会学。